

横浜市立大学大学院医学研究科通則

制 定 平成 21 年 3 月 1 日 規程第 219 号

最近改正 令和 8 年 4 月 1 日 規程第 7 号

(研究科の組織)

第 1 条 医学研究科（以下「本研究科」という。）に次の専攻を置く。

医科学専攻（修士課程・博士課程）

看護学専攻（博士前期課程・博士後期課程）

(研究科の目的)

第 2 条 本研究科は、医学、看護学及び諸科学の知識と技術を基礎として、より高度な学識と実践能力を培うことによって、地域社会及び国際社会において活躍・貢献することのできる人材を育成するとともに、研究成果を還元することにより、社会の発展に寄与することを目的とする。

2 医科学専攻は、医学及び諸科学の専門的知識と技術を基礎として、医学・医療の未開の領域を切り開き社会に還元できる、医科学研究者及び専門的職業人を育成することを目的とする。

3 看護学専攻は、広い視野に立脚して看護学の専門性を追究できる人材及び看護学の実践的研究能力をもって実践現場を改革できる人材を育成し、地域の保健医療福祉の発展に寄与することを目的とする。

(入学者の選考)

第 3 条 入学者の選考方法、時期、合格判定等は本研究科教授会において決定する。

(指導教員)

第 4 条 学生の授業科目の履修及び学位論文の作成等に対する指導のため、学生ごとに指導教員を置く。

2 研究科長は、本研究科教授会の議を経て、主指導教員及び副指導教員を指名する。

3 指導教員は、主指導教員 1 名、ほか副指導教員 1 名以上を置くことができる。

(授業科目)

第 5 条 授業科目及び単位数は、別表によるものとする。

(他大学の大学院等における授業科目の履修及び研究指導)

第 6 条 学生は、学長が研究上必要と認めるときは、他大学の大学院（外国の大学院を含む）の授業科目を履修すること又は他大学の大学院（外国の大学院を含む）若しくは研究所等（大学院に相当する教育研究機関及び病院を含む。）において必要な研究指導を受けることができる。当該研究指導を受ける期間は、原則として 3 か月以上 1 年以内とする。ただし、博士課程においては、本研究科教授会の議を経て、1 年毎に延長できるものとする。

2 前項により修得した単位及び本研究科入学前に他大学の大学院等で修得した単位については、次の各号に定める単位数を上限として、横浜市立大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第 15 条に定める修了の要件における単位として算入す

ることができる。

- (1) 修士課程医科学専攻 8単位
- (2) 博士前期課程看護学専攻 2単位
- (3) 博士課程医科学専攻 6単位
- (4) 博士後期課程看護学専攻 2単位

3 「横浜市立大学国際総合科学部・国際教養学部・国際商学部・理学部及びデータサイエンス学部学生の大学院授業科目の履修に関する規程」に基づき、本研究科入学前に本研究科での授業科目を履修した場合は、8単位を上限として大学院学則第15条第1項に定める修了要件における単位として算入することができる。ただし、前項により修得した単位がある場合は、前項により修得した単位を含めて8単位とする。

(他研究科等における授業科目の履修及び研究指導)

第7条 学生は、学長が研究上必要と認めるときは、本学の他研究科（他専攻を含む）の授業科目を履修すること又は、必要な研究指導を受けることができる。

2 前項により修得した単位及び本研究科入学前に本学の他研究科で修得した単位については、次の各号に定める単位数を上限として、大学院学則第15条に定める修了の要件における単位として算入することができる。

- (1) 修士課程医科学専攻 8単位
- (2) 博士前期課程看護学専攻 2単位
- (3) 博士課程医科学専攻 6単位
- (4) 博士後期課程看護学専攻 2単位

3 前項第1号においては第6条により修得した単位と合わせて8単位、前項第3号においては第6条及び第8条により修得した単位と合わせて6単位を上限とする。

(本研究科科目等履修生として修得した単位の認定)

第8条 本研究科入学前に本研究科の科目等履修生として修得した単位については、次の各号に定める単位数を上限として、大学院学則第15条に定める修了の要件における単位として算入することができる。

- (1) 博士課程医科学専攻科目等履修生として修得した単位を博士課程医科学専攻の修了の要件における単位として算入する場合 6単位
- (2) 博士前期課程看護学専攻科目等履修生として修得した単位を博士前期課程看護学専攻の修了の要件における単位として算入する場合 12単位

2 前項第1号においては第6条及び第7条により修得した単位と合わせて6単位を上限とする。

(成績評価)

第9条 成績の評価は、試験の結果、平常の成績、出席状況等を総合的に判断して行い、60点以上を合格とし、授業科目の所定の単位を与える。

2 成績の評価と点数の関係は、次のとおりとする。

- | | |
|--------|------------|
| 秀 (SA) | : 90点～100点 |
| 優 (A) | : 80点～89点 |
| 良 (B) | : 70点～79点 |

可（C）：60点～69点

不可（D）：59点以下

3 他大学院等において修得した単位につき、評価基準が明確に判断できない場合は、所定の単位に評価を付けず認定と表記する。

4 学生は、成績の評価に関して疑問がある場合は、本研究科長に申し出ることができる。

（転研究科、転専攻）

第10条 本研究科長は、本研究科学生が本学大学院の他の研究科に転科を志望する旨を申し出たときは、本研究科教授会の議を経て、これを許可することができる。

2 本研究科長は、本研究科への転科を志望する者があるときは、当該専攻で審査のうえ、本研究科教授会の議を経て、許可することができる。

3 本研究科長は、本研究科学生が本研究科内の転専攻を志望する旨を申し出たときは、志望先及び当該専攻において審査のうえ、本研究科教授会の議を経て、これを許可することができる。

（学位論文の審査）

第11条 本研究科教授会は、学位論文審査のため、学位審査委員会を置く。

2 学位論文の審査に必要な事項は、専攻ごとに内規に定める。

（その他）

第12条 この規則に定めるもののほか、研究科に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

この通則は、平成21年3月1日から施行し、平成20年4月1日から適用する。

附 則

1 この規程は、平成22年4月1日から施行する。

2 博士課程生命分子情報医科学専攻、生体機能医科学専攻、生体システム医科学専攻は、改正後の本通則第1条の規定にかかわらず、平成22年3月31日に当該専攻に在学する者が当該専攻に在学しなくなる日までの間、存続するものとする。

附 則

この通則は、平成24年4月11日から施行し、平成24年4月1日から適用する。

附 則

この通則は、平成25年10月8日から施行し、平成25年9月22日から適用する。

附 則

この通則は、平成30年4月1日から施行・適用する。

附 則

この通則は、令和3年4月1日から施行・適用する。

附 則

この通則は、令和 3 年 11 月 1 日から施行・適用する。

附 則（令和 7 年規程第 72 号）

この通則は、令和 7 年 12 月 1 日から施行・適用する。

附 則（令和 8 年規程第 7 号）

この通則は、令和 8 年 4 月 1 日から施行する。

別表 (授業科目の名称及び単位数)
 医学研究科 (修士課程) 医科学専攻

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
生命倫理セミナー	1	発生成育小児医療学	4
大学院医学セミナー	2	泌尿器科学	4
臨床医学概論 I	2	運動器病態学	4
医科学概論 I (A)	1	形成外科学	4
医科学概論 I (B)	1	放射線診断学	4
医科学概論 I (C)	1	放射線治療学	4
医科学実験法 I (A)	1	精神医学	4
医科学実験法 I (B)	1	視覚器病態学	4
放射線治療技術研修	8	再生外科学	4
臨床腫瘍学概論 I A	1	頭頸部生体機能・病態医科学	4
臨床腫瘍学概論 I B	2	環境免疫病態皮膚科学	4
腫瘍放射線医学概論	2	顎顔面口腔機能制御学	4
臨床研究入門1	1	リハビリテーション医学	4
臨床研究入門2	1	総合診療医学	4
放射線治療技術学	2	特別研究(医科学研究コース)	15
英語プレゼンテーション法	1	特別研究(放射線治療技術コース)	4
先端医科学研究概論	1	がんプロ特講 I	1
バイオインフォマティクス実践	1	がんプロ特講 II	2
バイオインフォマティクス特講	1	大学院・日本語入門 I	2
疾患モデル動物概論	1	大学院・日本語入門 II	2
ゲノム医学	2	大学院・日本語 I	2
病院マネジメント概論	1	大学院・日本語 II	2
医療と経営	2	大学院・日本語 III	2
微細形態学	4	大学院・日本語実践	1
神経解剖学	4		
循環制御医学	4		
神経内分泌学	4		
遺伝子発現制御学	4		
分子生物学	4		
薬理学	4		
分子生体防御学	4		
免疫学	4		
生命病態学	4		
分子病理学	4		
臓器再生医学	4		
人類遺伝学	4		
臨床統計学	4		
法医学	4		
医学教育学	4		
疫学	4		
幹細胞免疫制御内科学	4		
呼吸器病学	4		
感染症内科学	4		
循環器内科学	4		
病態制御内科学	4		
消化器内科学	4		
肝胆膵消化器病学	4		
分子内分泌・糖尿病内科学	4		
神経内科学	4		
臨床腫瘍学	4		
外科治療学	4		
消化器・腫瘍外科学	4		
生体制御・麻酔科学	4		
救急医学	4		
脳神経外科学	4		
生殖生育病態医学	4		

別表 (授業科目の名称及び単位数)
 医学研究科 (博士課程) 医科学専攻

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
生命倫理セミナー	1	運動器病態学	4
大学院医学セミナー(A)	1	形成外科学	4
大学院医学セミナー(B)	1	放射線診断学	4
臨床医学概論ⅡA	2	放射線治療学	4
医科学概論Ⅱ	4	精神医学	4
医科学実験法Ⅱ	1	視覚器病態学	4
先端のがん臨床研修	7	再生外科学	4
臨床腫瘍学概論ⅡB	2	頭頸部生体機能・病態医科学	4
腫瘍放射線医学概論	2	環境免疫病態皮膚科学	4
臨床研究入門1	1	顎顔面口腔機能制御学	4
臨床研究入門2	1	リハビリテーション医学	4
英語プレゼンテーション法	1	総合診療医学	4
先端医科学研究概論	1	生物統計学Ⅰ	2
バイオインフォマティクス実践	1	生物統計学Ⅱ	2
バイオインフォマティクス特講	1	観察研究データ解析	1
疾患モデル動物概論	1	エビデンス計量評価論Ⅰ	2
ゲノム医学	2	エビデンス計量評価論Ⅱ	2
病院マネジメント概論	1	研究デザイン学Ⅰ	2
医療と経営	2	研究デザイン学Ⅱ	2
微細形態学	4	特別研究	20
神経解剖学	4	特別研究(がんプロコース)	10
循環制御医学	4	がんプロ特講Ⅰ	1
神経内分泌学	4	がんプロ特講Ⅱ	2
遺伝子発現制御学	4	大学院・日本語入門Ⅰ	2
分子生物学	4	大学院・日本語入門Ⅱ	2
薬理学	4	大学院・日本語Ⅰ	2
分子生体防御学	4	大学院・日本語Ⅱ	2
免疫学	4	大学院・日本語Ⅲ	2
生命病態学	4	大学院・日本語実践	1
分子病理学	4		
臓器再生医学	4		
人類遺伝学	4		
臨床統計学	4		
法医学	4		
医学教育学	4		
疫学	4		
幹細胞免疫制御内科学	4		
呼吸器病学	4		
感染症内科学	4		
循環器内科学	4		
病態制御内科学	4		
消化器内科学	4		
肝胆膵消化器病学	4		
分子内分泌・糖尿病内科学	4		
神経内科学	4		
臨床腫瘍学	4		
外科治療学	4		
消化器・腫瘍外科学	4		
生体制御・麻酔科学	4		
救急医学	4		
脳神経外科学	4		
生殖生育病態医学	4		
発生成育小児医療学	4		
泌尿器科学	4		

別表 (授業科目の名称及び単位数)
医学研究科 (博士前期課程) 看護学専攻

授業科目名	単位数	授業科目名	単位数
看護研究方法論	2	先端成人看護学特講Ⅰ	2
看護研究方法論演習	1	先端成人看護学特講Ⅱ	2
看護倫理学	2	先端成人看護学特講Ⅲ	2
看護管理学	2	先端成人看護学演習Ⅰ	2
看護コンサルテーション論	2	先端成人看護学演習Ⅱ	2
看護継続教育学	2	先端成人看護学特別演習	4
看護政策学	2	先端成人看護学特別研究	8
看護理論	2	老年看護学特講Ⅰ	2
高度実践フィジカルアセスメント論	2	老年看護学特講Ⅱ	2
高度実践生理学・病態生理学	2	老年看護学特講Ⅲ	2
高度実践薬理学	2	老年看護学特講Ⅳ	2
看護統計学	2	老年看護学演習Ⅰ	2
看護生命科学特講Ⅰ	2	老年看護学演習Ⅱ	2
看護生命科学特講Ⅱ	2	老年看護学演習Ⅲ	2
看護生命科学特講Ⅲ	2	老年看護学専門実習Ⅰ	3
看護生命科学演習Ⅰ	2	老年看護学専門実習Ⅱ	4
看護生命科学演習Ⅱ	2	老年看護学専門実習Ⅲ	3
看護生命科学特別演習	2	老年看護学特別演習	4
看護生命科学特別研究	4	老年看護学特別研究	8
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅰ	2	老年看護学課題研究	4
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅱ	4	小児看護学特講Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅲ	4	小児看護学特講Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅳ	4	小児看護学特講Ⅲ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅴ	1	小児看護学特講Ⅳ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅵ	4	小児看護学演習Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅶ	2	小児看護学演習Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅷ	2	小児看護学演習Ⅲ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅸ	2	小児看護学特別演習	4
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅹ	2	小児看護学専門実習Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅺ	2	小児看護学専門実習Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講Ⅻ	2	小児看護学専門実習Ⅲ	6
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講ⅩⅢ	2	小児看護学特別研究	8
クリティカルケア・周麻酔期看護学特講ⅩⅣ	2	小児看護学課題研究	4
クリティカルケア・周麻酔期看護学演習Ⅰ	2	母性看護学特講Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学演習Ⅱ	2	母性看護学特講Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅰ	4	母性看護学特講Ⅲ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅱ	6	母性看護学演習Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅲ	4	母性看護学演習Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅳ	2	母性看護学特別演習	4
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅴ	4	母性看護学特別研究	8
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅵ	4	助産学特講Ⅰ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学専門実習Ⅶ	2	助産学特講Ⅱ	2
クリティカルケア・周麻酔期看護学課題研究	4	助産学特講Ⅲ	2
基礎看護学特講Ⅰ	2	助産学特講Ⅳ	2
基礎看護学特講Ⅱ	2	助産学特講Ⅴ	2
基礎看護学特講Ⅲ	2	助産学演習Ⅰ	2
基礎看護学演習Ⅰ	2	助産学演習Ⅱ	2
基礎看護学演習Ⅱ	2	助産学演習Ⅲ	6
基礎看護学特別演習	4	助産学演習Ⅳ	2
基礎看護学特別研究	8	助産学演習Ⅴ	2
看護プロフェッショナル教育学特講Ⅰ	2	助産学演習Ⅵ	2
看護プロフェッショナル教育学特講Ⅱ	2	助産学演習Ⅶ	1
看護プロフェッショナル教育学特講Ⅲ	2	助産学演習Ⅷ	2
看護プロフェッショナル教育学演習Ⅰ	2	助産学演習Ⅸ	1
看護プロフェッショナル教育学演習Ⅱ	2	助産学実習Ⅰ	9
看護プロフェッショナル教育学特別演習	4	助産学実習Ⅱ	2
看護プロフェッショナル教育学特別研究	8	助産学課題研究	4
看護管理学特講Ⅰ	2	精神看護学特講Ⅰ	2
看護管理学特講Ⅱ	2	精神看護学特講Ⅱ	2
看護管理学特講Ⅲ	2	精神看護学特講Ⅲ	2
看護管理学演習Ⅰ	2	精神看護学特講Ⅳ	2
看護管理学演習Ⅱ	2	精神看護学特講Ⅴ	2
看護管理学特別演習	4	精神看護学演習Ⅰ	2
看護管理学特別研究	8	精神看護学演習Ⅱ	2
成人看護学特講Ⅰ	2	精神看護学演習Ⅲ	2
成人看護学特講Ⅱ	2	精神看護学特別演習	4
成人看護学特講Ⅲ	2	精神看護学専門実習Ⅰ	1
成人看護学演習Ⅰ	2	精神看護学専門実習Ⅱ	2
成人看護学演習Ⅱ	2	精神看護学専門実習Ⅲ	2
成人看護学特別演習	4	精神看護学専門実習Ⅳ	2
成人看護学特別研究	8	精神看護学専門実習Ⅴ	5
感染看護学特講Ⅰ	2	精神看護学課題研究	4
感染看護学特講Ⅱ	2	精神看護学特別研究	8
感染看護学特講Ⅲ	2	地域看護学特講Ⅰ	2
感染看護学特講Ⅳ	2	地域看護学特講Ⅱ	2
感染看護学演習Ⅰ	2	地域看護学特講Ⅲ	2
感染看護学演習Ⅱ	2	地域看護学演習Ⅰ	2
感染看護学演習Ⅲ	2	地域看護学演習Ⅱ	2
感染看護学専門実習Ⅰ	3	地域看護学特別演習	4
感染看護学専門実習Ⅱ	4	地域看護学特別研究	8
感染看護学専門実習Ⅲ	3	大学院・日本語入門Ⅰ	2
感染看護学特別演習	4	大学院・日本語入門Ⅱ	2
感染看護学課題研究	4	大学院・日本語Ⅰ	2
感染看護学特別研究	8	大学院・日本語Ⅱ	2
がん看護学特講Ⅰ	2	大学院・日本語Ⅲ	2
がん看護学特講Ⅱ	2	大学院・日本語実践	1
がん看護学特講Ⅲ	2	〔以下、がんプロフェッショナル養成プラ〕 インテンシブプログラム	
がん看護学特講Ⅳ	2		
がん看護学特講Ⅴ	2	がん共通特論Ⅰ	1
がん看護学演習Ⅰ	2	がん共通特論Ⅱ	1
がん看護学演習Ⅱ	2	がん共通特別演習	1
がん看護学専門実習Ⅰ	2	がん共通特別実習	2
がん看護学専門実習Ⅱ	4	臨床研究概論	1
がん看護学専門実習Ⅲ	4		
がん看護学課題研究	4		

別表（授業科目の名称及び単位数）
 医学研究科（博士後期課程）看護学専攻

授業科目名	単位数
看護学研究論	2
看護学研究論演習	1
医療倫理論	2
医療統計学	2
看護学教育論	2
医療心理学	2
看護ケアシステム開発学特論	2
看護管理学システム特論	2
成人看護科学特論	2
感染看護学開発特論	2
健康支援看護学特論	2
生命科学特論	2
ウイメンズヘルス看護学特論	2
発達療養支援看護学特論	2
小児看護学特論	2
老年看護学システム開発特論	2
アディクション看護学開発特論	2
社会精神看護学特論	2
地域ケアシステム看護学特論	2
機能再生看護学特論	2
看護学特別演習	2
看護学特別研究Ⅰ	2
看護学特別研究Ⅱ	2
看護学特別研究Ⅲ	4
大学院・日本語入門Ⅰ	2
大学院・日本語入門Ⅱ	2
大学院・日本語Ⅰ	2
大学院・日本語Ⅱ	2
大学院・日本語Ⅲ	2
大学院・日本語実践	1